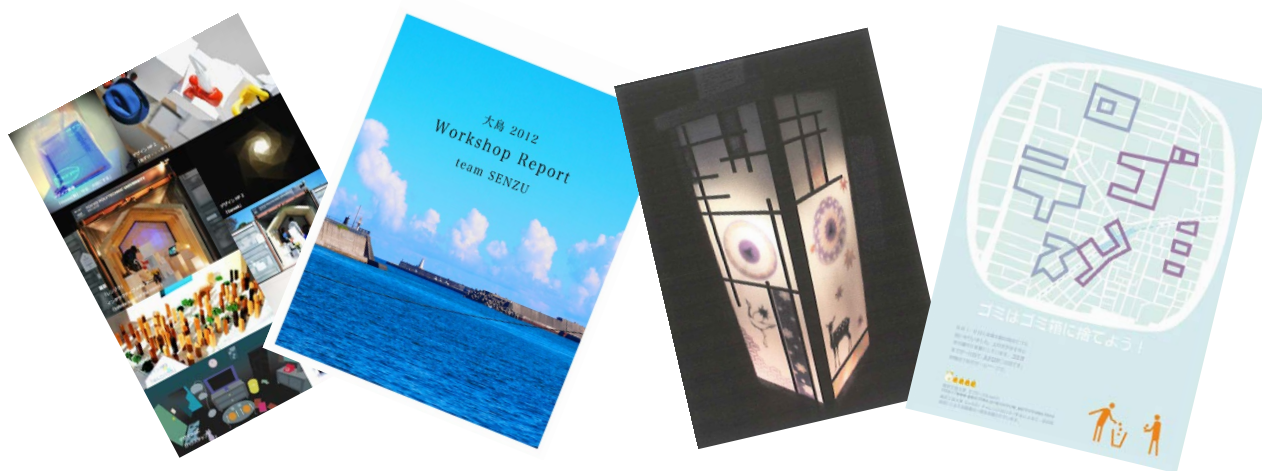


# Co-G.E.I.チャレンジ 2019

～「学部生・大学院生による工・芸共同研究」募集のお知らせ～  
“友達集めて研究支援金(最大 80 万円)を GET しよう!”



主 催：東京工芸大学

締め切り：2019年5月31日（金）16時

提出先：[er-support@office.t-kougei.ac.jp](mailto:er-support@office.t-kougei.ac.jp)

(教育研究支援課 宛)

- ・いいアイデアを思いついたので応募したい
- ・応募書類の具体的な書き方が分からない
- ・支援責任者の先生が見つからない

・・・などありましたら、教育研究支援課までご連絡ください!

教育研究支援課：厚木キャンパス本館3階

tel:046-242-9964 担当:野木、小澤、山口

e-mail:[er-support@office.t-kougei.ac.jp](mailto:er-support@office.t-kougei.ac.jp) でも受け付けています

## 「Co-G.E.I.チャレンジ 2019」とは？

今年度も「Co-G.E.I.チャレンジ 2019」を実施します。この「Co-G.E.I.チャレンジ」とは、「Cooperative Good Educational Innovation」(協同して取り組む、優れた教育的革新)の頭文字をつなげた造語です。これは工学部と芸術学部という、本学の学部構成の特色を生かし、異なる学部・学科・コース(院生含む)に所属する複数の学生が協力して行う優れた研究活動に対して、大学の発展に寄与することを願って支援する事業です。

学生のみなさんから提出された応募書類とプレゼンテーションをもとに、学長を委員長とした審査委員会で審査し、支援する研究活動を決定します。

こうやって説明するとかなり大がかりで大変なことだと思える人も多いかと思いますが、みなさんが日頃行っている活動あるいは是非やってみたい企画が、メインになります。言い換えれば大学内で行う全てのことが研究活動なのです。みなさんの自由な発想にもとづく応募をお待ちしています。

また、2016年度に本学は工学と芸術学が連携した「色」の研究が、文部科学省の平成28年度私立大学研究ブランディング事業(タイプB)※の支援対象として選定されました。学生のみなさんから「色」の研究についても募集します。

※「私立大学研究ブランディング事業」は、学長のリーダーシップの下、優先課題として全学的な独自色を大きく打ち出す研究に取り組む私立大学等に対し、経常費・施設費・設備費を一体として重点的に支援する文部科学省の事業

### 1. 研究支援について

審査の結果、採択された活動には、1件につき80万円を上限として、大学から活動費用の支援を行います。

＜留意点＞

- ① 支援を受けて制作された映画の著作物については、原則として大学が著作権を有することとなります。
- ② その他の著作物の著作権の帰属については、制作後、協議・確認することとします。

### 2. 対象となる活動について

応募の対象となる研究活動は、次の条件を満たすものです。

- 1) 工学部・芸術学部の特色を生かした活動で、異なる学部・学科・コース(院生含む)の複数の学生が参加していること  
ただし、「Co-G.E.I.チャレンジ」の趣旨・目的に沿った研究課題で、応募時点において異なる学部・学科・コース(院生含む)の複数の学生による参加の実態が無い場

合でも、将来的な参加への発展が見込める研究は応募を可能とします

- 2) 学生のみなさんが自主的に行う研究活動であること
- 3) 本学の専任教員(1名以上)を指導(支援)責任者とする
- 4) 2020年2月末日までに行う研究活動であること

〈留意点〉

- ① 研究活動が採択された場合、指導(支援)責任者を通じて予算執行を行います。
- ② 研究活動終了後に成果をとりまとめた報告書(A4 4枚程度)を提出します。  
(報告書は大学ホームページで公開します)。また、翌年度以降行う成果発表会等へ参加していただく場合があります。
- ③ 「色」の研究では、成果を本学の「色の国際科学芸術研究センター・カラボギャラリー」に展示させていただく場合があります。
- ④ 東京工芸大学後援会「学生作品発表活動奨励費」「学生と教員との共同活動等への教育・研究助成費」等、大学、後援会及び同窓会が支給する他の補助金への重複申請はできませんので、ご注意ください。

(参考)東京工芸大学「工・芸共同研究」規程

(目的)

第1条 この規程は、東京工芸大学(以下「本学」という。)の専任教育職員(学生含む)が、本学内の者と共同して行う特色ある研究(以下「共同研究」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規程において共同研究とは、特定の研究課題について学部間等において複数の者が共同で行う研究をいう。

### 3. 応募手続きについて

別添の応募書類に必要事項を記入・押印し、PDF化した書類を教育研究支援課のメールアドレスに締め切り日時までに提出してください。(共同研究責任者欄は、学部生又は大学院生の代表者の氏名等を記載してください)

提出する際、メールの件名は「Co-G.E.I.チャレンジ応募」とし、メール文中に共同研究責任者の学籍番号及び氏名を記載し、PDF化した書類を添付してください。

教育研究支援課 e-mail : [er-support@office.t-kougei.ac.jp](mailto:er-support@office.t-kougei.ac.jp)

提出後、6月4日(火)までに受領確認がない場合は、6月6日(木)までに教育研究支援課まで照会してください。

### 4. 募集期間について

**2019年5月9日(木)～5月31日(金)16時**

## 5. 審査方法について

学長を委員長とした審査委員会で審査を行います。6月13日(木)午前から厚木キャンパス(主会場)及び中野キャンパス(遠隔会場)でプレゼンテーションを実施し、申請書類とともに審査します。

審査は下記の観点から行われます。(応募者には後日、時間・場所等をご連絡します。**日程の変更はできませんので、必ずメンバーの中から1人以上の参加が必要です。なお、プレゼンテーションに参加できるのは、本学の学生に限ります。**)

※応募件数が多数の場合は、書類審査でプレゼンテーション対象となる提案を絞り込むことがありますので、あらかじめご了承ください

1)学際性	・参画する学部・学科・コース等の特性が、それぞれ生かされているか ・教育研究内容は、いずれかの学部・学科・コース等に著しく偏ることがないか
2)組織性	・特定の学生に偏ることなく、複数の学生の参画が可能か ・地域社会や企業・団体との連携を具体的に展開できる可能性があるか
3)有効性	・これまでの学内教育にない、新たな特徴が認められるか ・学習効果は、何らかの評価手法により確認できるか ・プロジェクトで得られた成果は、広く内外に向けて発信できるか
4)発展性	・学内の新たな教育課程の編成等に向けた可能性があるか ・プロジェクトで得られた成果は、他の授業科目や教育課程に取り入れられるか
5)その他	・実施計画には無理がないか

## 6. 申請活動の過去の例

活動例	内容例
ロボットコンテストへの参加	設計・プログラム開発等を手がけたロボットで、学外のロボットコンテストに参加する。
映像作品の制作・出展	映像作品(実写・アニメーション・インスタレーション等)を企画・制作し、外部コンペに出展する。
美術館・博物館での子ども向けイベント支援	美術館・博物館等で開催する子ども向けイベントの企画に協力し、運営やコンテンツ制作に参画する。
五感を活用した語学教育プロジェクト	リズム・映像にリンクして発音やイントネーション等を効果的に学べる語学教材を開発する。
商店街活性化への協力	商店街の活性化を図るための企画に協力し、イベント企画・実行や魅力を高めるアイデアの提案等を行う。
地球外生命体探索プロジェクトへの参加	PC演習室のコンピュータを活用し、グリッドコンピューティングによる地球外生命体探索プロジェクトに協力する。

注)これは採択された例です。例とは全く異なるもので構いませんので、自由な発想で応募してください。

7. 2018年度に採択された研究活動(参考)

●Co-G.E.I.チャレンジ2018(5件)

申請活動名	責任者氏名	責任者 所属学科・学年
全日本マイクロマウス大会 2018in 工芸大に向けたロボットの改良	仲田 尚貴	電子機械学科 4年
「東京工芸大学 Presents ロボットフェスティバル 2018」を盛り上げる!	貴俵 亮介	電子機械学科 4年
人間の骨格モデルに基づいた筋電義手の開発	何 梓遜	電子情報工学専攻 (博士前期課程) 1年
漫画元素図鑑「いめげん」制作委員会	大石 智稀	デザイン学科 3年
人体通信を用いた新たなヘルスケアデバイスの製作	松尾 佳樹	メディア画像学科 4年

※所属学科・学年は採択当時のものです

以上